



森と海の自然科秋季研修旅行の案内

日本百名山の一つである中央アルプス木曾駒ヶ岳（2956メートル）に、登山・散策を楽しみます。

今回は、ロープウェイで千畳敷カール（2612メートル）まで行き、山並みの秋の紅葉を満喫しながらホテル千畳敷に宿泊します。

翌日は、駒ヶ岳登山グループ（標高差350メートルを登ります）と周辺散策グループに分れますが、それぞれが3000メートル級の山並みの紅葉を楽しんで頂きます。



1. 旅行日 : 2016年10月6日（木）～7日（金）

2. 宿泊地 : ホテル千畳敷

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂1番地

☎0265-83-5201

***浴衣、タオル、ハブラシ等は、完備されています。**



3. 貸切バスの乗車場所及び出発時間

① JR 京都線・島本駅 8:10 発

② 阪急京都線・水無瀬駅 8:20 発

4. 持ち物 : 寒さ対策衣類（ダウン等）、厚手の手袋、雨具（カッパ、傘）、ストック

各自必需品、ヘッドランプ、飲食物（バス・ホテルでのおやつ、お酒類は

各自好みのものを持参）***バスは、空席7席とトランクルームが有り荷物が**

増えても十分置けます。又翌日の登山で不要な荷物はホテルに置いていけます。

5. 昼食 : 弁当持参としていますが、恵那峡SAでレストラン又は弁当持参で屋内・外で自由に食事をして下さい。（1時間の休憩をとっています。）

6. 参加者 : 20名で森海科18名、特別参加者3名（女性12名、男性8名）

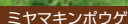
7. 費用 : 森海科（25,000円）、特別参加者（28,000円）（当日徴収します）

8. 行程

- ・10/6（木）は、阪急・水無瀬駅を出発して、名神高速道路～中央自動車道～菅の台バスセンターで、**14:30発の路線バス乗車**～ロープウエー～ホテル千畳敷着16:00宿泊（食事、入浴等）夕食は、18:00～部屋で懇親会19:30～21:00～就寝
- ・10/7（金）**7:00朝食～ホテル出発7:40**（ホテルで昼食弁当受け取り）～登山グループと散策グループに別れます。登山グループは、下図のコースで駒ヶ岳を往復します。散策グループは、周辺散策マップを参考に散策して下さい。

それぞれが昼食を済ませてホテル**玄関に12:30集合し、ロープウエー乗り場発13:00**
ロープウエー降りば着13:07～しらび平バス駅発**13:30**～菅の台バスセンター着14:00～貸切バス～温泉「こぶしの湯」～**発15:20**～駒ヶ根IC～阪急・水無瀬駅～**JR島本駅19:50予定**





コイワカガミ

チングルマ

シナノキンバイ

ミヤマクロユリ

ショウジョウバカマ

コバイケイソウ

南アルプス側

側一力敷畳千

A scenic view of a mountain valley. In the foreground, there are green grassy slopes with patches of snow. A calm lake in the middle ground reflects the surrounding landscape. The background features steep, rocky mountains with snow patches and a blue sky with scattered clouds. Yellow flowers are visible in the immediate foreground.

「2016年度:秋季研修旅行/木曽駒ヶ岳」の記録

記録:並木

- 1.日 時 2016年(H28年) 10月6日(木), 7日(金)
- 2.集合場所 JR東海道線・島本駅 及び 阪急京都線・水無瀬駅
- 3.参加者(20名) メンバー; 17名(浅野, 石原, 大石, 甲斐, 金高, 金戸, 児玉, 後藤, 坂根, 杉谷, 日景, 藤井, 藤本, 前窪, 前野, 山下, 並木)
特別参加; 3名(大西さん, 牧野さん, 斉木さん)
- 4.目的 信州中央アルプス・千畳敷カールの散策, 自然観察 及び 日本百名山の一つである木曽駒ヶ岳(2, 956m)への登山を行う。(長野県駒ヶ根市)
但し, 体力に合わせて登頂組, 途中から下山組, 散策組と分かれて行動する。
一日目はロープウェイで千畳敷カール(2, 612m)迄行って散策し, 山並みと秋の紅葉を鑑賞の上, 「ホテル千畳敷」に宿泊する。
二日目は標高差344mの駒ヶ岳に登山し, 南/中央/北アルプスの連峰を堪能し, 日本のシワを体感する。
- 5.特記事項 (1)貸切バス: 中国観光(株)(株)クレベ; KR観光バス事業部(村上運転手))
中型バス(27人乗り, トランクルーム付), 「安全活動確認書」を受領
* 契約金額以外に一泊二食付の宿泊費と昼食費を当方が負担。
心付けは渡さない。 高速料は旅行担当者のETCカードを利用する。
(2)「登山者名簿」を提出する。
(3)各自で「山岳保険」に加入するよう勧める。(「旅行傷害保険」とは別に)
* 救難費用2百万円以上をカバーするトレッキング/野遊び保険

6.行程 及び 記録

台風18号の余波(出発前日の夜から当日明け方にかけて影響が懸念)でロープウェイの運行が間際まで懸念されたが, OKの確認が取れ, 現地の心配が無く出発出来ました。

(1)10月6日(木) 晴れ,時々曇り: 島本駅:8時10分出発, 水無瀬駅:8時20分出発

・大山崎ICから名神高速道路 9:30:多賀SA着(20分休憩)

・小牧JCTから中央自動車道

11:30:恵那峡SA着(60分休憩) * 持参弁当orレストランで各自昼食

12:30出発→13:20:駒ヶ岳SA着(25分休憩) * SA内の自然道, ミニ展望台で山並みを鑑賞しました。

13:45出発→14:00:菅の台バスセンター着(駒ヶ根ICを出て)

◇旅行担当の企画でバス内が盛り上がりました。

①甲斐さん作成の難問, おかしな問題等のクイズで頭の体操?をしました。

②藤本さんリードで昔の「歌声喫茶」風の山の歌を, みんなで歌い, 楽しみました。

・路線バス: 14:30出発(増発便を予約し貸切)→15:00:しらび平(ロープウェイ乗り場)着

菅の台860m→しらび平1, 662m: 標高差802mのクネクネ森林道を30分かけ到着。

・ロープウェイ(61名乗り): 15:30出発→15:37:千畳敷着

しらび平1, 662m→千畳敷2, 612m: 標高差950mを一気に駆け上がった。

紅葉は残念ながら, ほぼ終了していたが, 晩秋の色合いを楽しむことができました。



八丁坂から望んだ「千畳敷ホテル」



千畳敷カールを散策



明日を期して乾杯

・16:00「ホテル千畳敷」着

5人部屋×2を男性4名×2=8名が使用, 4人部屋×4を女性3名×4=12名が使用

食事までは自由時間で, 千畳敷カールを散策した。

「お花畑」の花は観賞する時期ではなく, 数輪のシナノキンバイの黄色い花と, ナナカマドのまばらな赤い実を見付けるに留まりました。

18:00~19:00:明日の頑張りを期して乾杯するとともに, 山上での美味しい会席料理を戴いた。

明日の登山につき, グループ分けを確認した。

散策組×2名, 登頂チャレンジ組(リーダー; 金高さん)×8名, 登頂組(リーダー; 大石さん)×10名

◇結果は, 散策組×1名, 駒ヶ岳登頂組×11名(リーダー; 大石さん, 後続リーダー; 金高さん),

中岳登頂組×2名, 乗越浄土から伊奈前岳方面組×6名(リーダー; 児玉さん)

◇夕食後, 男性の部屋で簡単な懇親会を行った。又, 別室で10周年記念旅行の委員会が行われました。

(2)10月7日(金) 快晴, 日の出: 5:47, 日の入り: 17:25, 駒ヶ岳気温予想: 1~12℃

◇快晴の予報で, 日の出を仰ぐため, 多くの方が早朝起床し鑑賞しました。

此処までのパノラマを, ナマで見ることが出来るのは, 稀であろうという程, 息をのむ景観でした。

左下は日の出前の雲海と南アルプス連峰と富士山, 右下は雲海と南アルプス連峰からの御来光です。



雲海+南アルプス連峰+富士山



御来光

◇荷物作りを終えて6:50から朝食。余分な荷物を仮置き部屋に置き, ホテル前広場に集合。
昼食用弁当を受け取り, 準備体操のうえ7:40出発。



千畳敷カールから乗越浄土を望む



出発前, 意気軒昂な姿でホテル前に集合

・千畳敷で最初に目に飛び込んでくるのは, 鋭い岩峰を天に突き上げている2,931mの宝剣岳です。

登山を開始して八丁坂にかかると次第に傾斜がきつくなり, コースもジグザグです。

この辺から乗越浄土までの間は落石に注意しながら登ることになり, オットセイ岩を右に見る頃が一番辛い場所です。頑張りどころで, 高山病を気にしつつ, ゆっくりと, 且つ, 休みながらの行程となりました。

・乗越浄土に出ると正面に中岳, 左には宝剣岳が手に取るように見えます。

ハイマツの間をゆるやかに登ると, 巨岩の建ち並ぶ中岳となり, 駒ヶ岳本峰をここで初めて見る事ができます。

駒ヶ岳は古くから信仰の山なので, 山頂の神社で手を合わせたい人は, お参りして下山しました。

◇登頂~下山時間は標準 4時間に対しシニアにつき 5時間見ていたが, 休憩含めて4時間を達成(ヤッター)。

ホテルのレストランで昼食を済ませた後, ロープウェイ待ちの行列が, でき始めていた為, 順次乗車/下山。

・しらび平より路線バス: 12:40出発(貸切予約時間を前倒し変更)→13:10:菅の台バスセンター着

・チャーターバスにて「露天こぶしの湯」13:20~14:30:温泉で汗を流し, さっぱりして帰路につく。

・内津峠PAと多賀SAで休憩し, 19:00に水無瀬駅に到着。続いて島本駅に着き, 全員無事解散。



乗越浄土から伊奈前岳方面組



乗越浄土での登頂先行組



登頂後続組の中岳登頂



遂に駒ヶ岳登頂バンザイ



駒ヶ岳から北アルプスを望む(穂高岳)

7.まとめ

今回の研修旅行は「ホテル千畳敷」をキープするのを前提とし、4ヶ月前の6月初旬に予約出来た事で成立しました。紅葉を満喫するという予定は外れましたが、これ以上ないと言う程の良い天気恵まれ、ツアーを楽しめました。晴男、晴女の念力が勝ったのですね。

ロープウェイで多少混んだ程度で、登山も含め、混み合う事態はなく、ホッとしました。

気温は千畳敷カール側の壁は風もなく温かったが、乗越浄土から駒ヶ岳に掛けては風と寒さの対策が必要でした。

登山標準4時間に収まり、登頂者は達成感を味わえました。又、事故、ケガもなく無事全員帰還出来たのは何よりでした。

千畳敷から駒ヶ岳にかけての3,000m級の険しい登山、南/中央/北アルプス連峰の絶景ビュー、雲海及び御来光と、晴天の中、盛り沢山の素晴らしい思い出を残してくれました。

- 以 上 -

〈秋季研修旅行担当: 杉谷リーダー、甲斐、藤本、並木〉